



## 平成20年3月期 決算短信

平成20年5月23日

上場会社名 株式会社マーベラスエンターテイメント

上場取引所 東証二部

コード番号 7844

URL <http://www.mmv.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 晴 喜

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 青木 利 則

TEL (03) 5793-9170

定時株主総会開催予定日 平成20年6月20日

配当支払開始予定日 平成20年6月23日

有価証券報告書提出予定日 平成20年6月26日

(百万円未満切捨て)

## 1. 20年3月期の連結業績(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期	12,387	(△0.8)	352	(—)	326	(—)	791	(—)
19年3月期	12,487	(35.8)	△1,052	(—)	△1,053	(—)	△1,525	(—)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
20年3月期	9,368 63	—	35.6	3.8	2.8
19年3月期	△18,072 13	—	△57.9	△13.0	△8.4

(参考) 持分法投資損益 20年3月期 - 百万円 19年3月期 - 百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期	7,813	2,812	33.4	30,897 96
19年3月期	9,466	1,915	19.6	21,975 39

(参考) 自己資本 20年3月期 2,585百万円 19年3月期 1,856百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期	△210	2,580	△1,954	1,334
19年3月期	△657	△1,886	2,739	981

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
19年3月期	0 00	0 00	0 00	—	—	—
20年3月期	0 00	750 00	750 00	63	8.0	2.8
21年3月期 (予想)	—	625 00	625 00		88.0	

(注) 20年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 625円00銭 特別配当 125円00銭

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,500 (△10.3)	△500 (—)	△530 (—)	△525 (—)	△6,214 49
通 期	12,500 (0.9)	260 (△26.3)	200 (△38.8)	60 (△92.4)	710 23

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- ① 期末発行株式数（自己株式を含む） 20年3月期 84,480株 19年3月期 84,480株
- ② 期末自己株式数 20年3月期 一株 19年3月期 一株
- （注）1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、21頁「1株当たり情報」をご覧ください。

（参考）個別業績の概要

1. 20年3月期の個別業績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期	8,303	(22.8)	253	(—)	239	(—)	1,789	(—)
19年3月期	6,763	(23.6)	△1,239	(—)	△1,228	(—)	△1,643	(—)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期	21,180 01	—
19年3月期	△19,469 25	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期	6,418	2,598	40.5	30,756	08
19年3月期	6,724	808	12.0	9,576	07

（参考）自己資本 20年3月期 2,598百万円 19年3月期 808百万円

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 経営成績（1）経営成績の分析」をご覧ください。

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当期の経営成績

当社グループは、「音とゲームと映像を融合させた新しいエンターテイメントの創造」を目指し、テレビアニメーションの制作、音楽CD、家庭用ゲームソフトやビデオグラム等のパッケージ商品の企画・制作・発売、テレビアニメーションのキャラクター等を使った舞台公演等を行っております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、音楽ソフト全体の生産状況は依然として縮小傾向にありますが、有料音楽配信市場が前年に引き続き堅調に拡大し、音楽市場全体では3年連続で前年を上回りました。映像ソフト市場におきましては、レンタル用DVDの売上が過去最高を記録した一方で、販売用DVDの売上が減少し、3年連続の前年割れとなりました。家庭用ゲーム市場におきましては、据え置き型ゲーム機の普及が本格的に始まり、ファミリー層の取り込みに成功した「Wii」がハード市場・ソフト市場ともに牽引し、前期に引き続き過去最高の市場規模となりました。

このような状況下、当社グループでは新たな飛躍へ向けた中期経営計画をスタートし、連結子会社の吸収合併や事業再編、成長分野への経営資源の集中やカンパニー制の導入等により、経営効率を高めるとともに財務体質の改善に努めてまいりました。

当期における売上高におきましては、音楽映像事業において海外のアニメーション市場の低迷によるライセンス販売収入の減少や、アミューズメント事業において事業譲渡を行ったことによる店舗売上の大幅な減少がありました。デジタルコンテンツ事業において英国子会社Rising Star Games Limitedを中心とした海外売上が大幅に拡大したことや舞台公演事業において観客動員数が過去最高水準で推移したこと等により、連結業績ではほぼ前期並の実績となりました。

利益面におきましては、音楽映像事業において映像コンテンツ償却の負担が減少したことやマスターライセンス（映像著作権）作品の分配収入が増加したことに加え、旧作を中心とした各種DVDリピート受注が増加したことにより利益率が改善いたしました。また、デジタルコンテンツ事業において定番タイトル・新規オリジナル作品の出荷本数が日本・欧州・北米で堅調に推移したこと、並びに舞台公演事業の規模が拡大したこと等により、連結業績が改善いたしました。

また、事業再編の一環といたしまして、アミューズメント事業の譲渡を完了したこと等により、978百万円の特別利益が発生いたしました。のれんの一括償却等により、特別損失167百万円が発生いたしました。

この結果、当期の業績は連結売上高12,387百万円（前期比0.8%減）、連結営業利益352百万円（前期連結営業損失1,052百万円）、連結経常利益326百万円（前期連結経常損失1,053百万円）、連結当期純利益791百万円（前期連結純損失1,525百万円）となりました。

また、単体におきましては、売上高8,303百万円（前期比22.8%増）、営業利益253百万円（前期営業損失1,239百万円）、経常利益239百万円（前期経常損失1,228百万円）、当期純利益1,789百万円（前期純損失1,643百万円）となりました。

当社は、前期におきましては、業績の悪化から誠に遺憾ながら無配とさせていただきますが、アミューズメント事業の譲渡、連結子会社の吸収合併、成長分野への経営資源の集中等の経営改革の推進によって、財務体質の改善・収益力の強化に取り組んだ結果、当期におきましては、お陰をもちまして復配を遂げることができました。今日までの株主の皆様のご理解、ご支援に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

#### (イ) 音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品（パッケージソフト）化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライセンス（映像著作権）保有作品の製作を行っております。

#### 音 楽

平成19年（平成19年1月1日～平成19年12月31日）における国内音楽ソフト（オーディオ／音楽ビデオ合計）の総売上高は、前年比4%減の3,911億円と若干の減少、生産数も前年比8%減の3億1,900万枚（巻）となり、平成10年に6,075億円と過去最高額を記録して以来9年連続の前年割れとなりました。しかしながら有料音楽配信はモバイルを中心に伸長を続けており、前年比41%増の755億円の売上を記録し、音楽ソフト生産金額と有料配信売上金額の合計は3年連続で前年を上回りました。（社団法人 日本レコード協会調べ）

このような状況下、当事業におきましては、「Yes!プリキュア5」の主題歌や企画音楽、専属アーティスト中河内雅貴の楽曲等を中心に商品を編成し、好調に推移いたしました。

## 映像

平成19年（平成19年1月1日～平成19年12月31日）における映像ソフト市場は前年比4%減の3,180億円と3年連続の前年割れとなりましたが、平成18年の前年比が11%減であったのに比べると落ち込みは緩やかになっています。主な要因は、レンタル用DVDの売上金額が前年に引き続き過去最高を記録した一方で、販売用DVDの売上金額が平成17年をピークに前年割れが続いていることにあります。（社団法人 日本映像ソフト協会調べ）

このような状況下、当事業におきましては、新たにテレビ放映アニメ作品「この青空に約束をーようこそつぐみ寮へー」、「セイント・ビースト～光陰叙事詩天使譚」、「Yes!プリキュア5」、「School Days」、「ケンコー全裸系水泳部 ウミショー」、「Myself;Yourself」、「GUNSLINGER GIRL—IL TEATRINO—」等の映像商品化や、前期より引き続き、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「遊☆戯☆王 デュエルモンスターGX」、「アイシールド21」、「ゴーストハント」等を映像商品化したしました。また、「ミュージカル『テニスの王子様』DVD」各種や、実写ドラマ「ハッピー★ボーイズ」、「美容少年★セレブリティ」等の実写映像作品を編成いたしました。

これらの新作に加えて旧作CD・DVDの受注が好調に推移したほか、出資作品「映画Yes!プリキュア5 鏡の国のミラクル大冒険!」の興行ヒットによる分配金収入が増加し、また音楽配信・映像配信収入も堅調に拡大いたしました。

この結果、当期における音楽映像事業の業績は、連結売上高4,190百万円（前期比8.7%減）、連結営業利益354百万円（前期連結営業損失893百万円）となりました。

### (ロ) デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、据え置き型及び携帯型ゲーム機を中心としたデジタルエンターテインメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

平成19年度（平成19年3月26日～平成20年3月30日）における国内ゲーム産業は、ハードの販売台数、ソフトの販売本数はともに微減となりましたが、ハード市場につきましては前期比5%増の3,175億円、ソフト市場につきましては前期比3%増の3,595億円とともに微増となり、ハード・ソフト市場規模の合計では前期比4%増の6,769億円と、前期に引き続き過去最高を更新しました。ハード市場におきましては、「Wii」が前期比91%増となる342万台を販売するなど、「プレイステーション3」、「Xbox360」とともに、据え置き型ゲーム機の普及が本格的に始まりました。ソフト市場におきましても、5タイトルのミリオンタイトルを生んだ「Wii」が前期比219%増となる1,396万本を販売し、市場を牽引しました。（株式会社エンターブレイン調べ）

このような状況下、当事業におきましては、国内市場では当社初のWii向けタイトルとして、定番タイトルである「牧場物語」、シリーズの新作「牧場物語 やすらぎの樹」や、ワールドワイドでの発売を視野に入れた新規オリジナルタイトルとして「NO MORE HEROES（ノーモア★ヒーローズ）」等を投入いたしました。ニンテンドーDS向けには、「川のぬし釣り こもれびの谷 せせらぎの詩」、「ルーンファクトリー2」等「牧場物語」に次ぐ当社定番シリーズの新作や、新たなシリーズ化が期待できるオリジナル作品「LUX-PAIN[ルクス・ペイン]」、ミステリー小説を原作とした「赤川次郎ミステリー 夜想曲一本に招かれた殺人者」、講談社「月刊アフタヌーン」連載中の大人気野球漫画を原作とした「おおきく振りかぶって ホントのエースになれるかも」等を発売いたしました。また、グループ全社プロジェクトとして取り組むコンテンツ「家庭教師ヒットマンREBORN!」につきましては、プレイステーション2向けに2タイトル、Wii向けに1タイトルを発売いたしました。海外におきましては、英国子会社Rising Star Games Limitedにおいて前期より出荷を開始した「Harvest Moon DS（ニンテンドーDS）」を欧州地域で33万本（累計53万本）出荷したことや、「NO MORE HEROES（Wii）」、「Harvest Moon Magical Melody（Wii）」をはじめとした当社オリジナルタイトルの欧州市場・北米市場への積極的な投入により海外売上が順調に拡大いたしました。

この結果、当期におけるデジタルコンテンツ事業の業績は、連結売上高6,903百万円（前期比35.8%増）、連結営業利益457百万円（前期比91.2%増）となりました。

### (ハ) アミューズメント事業

アミューズメント事業におきましては、平成19年6月1日をもちまして、新設立会社へ5店舗を会社分割し、同新設立会社の全株式を株式会社アトラスに譲渡いたしました。また、その他の3店舗につきましては、平成19年8月3日をもちまして、株式会社ザ・サードプラネットへ事業譲渡いたしました。

この結果、当期におけるアミューズメント事業の業績は、連結売上高468百万円（前期比79.7%減）、連結営業利益5百万円（前期連結営業損失80百万円）となりました。

### (ニ) 舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興行ビジネスを展開しております。

当事業におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』コンサート Dream Live 4th」、「ミュージカル『テニスの王子様』 Absolute King 立海 feat. 六角 ～Second Service」、「ミュージカル『テニスの王子様』 The Progressive

Match 比嘉 feat. 立海」を開催し、それぞれ同シリーズ過去最高の観客動員を記録しました。また、前期の好評を受け再演した「ミュージカル『エア・ギア』 vs. バッカス Super Range Remix」、当事業の新たな柱として期待できる新作ミュージカル「DEAR BOYS」、劇団「遊座 ASOBIZA」の第二回公演「リンゴの木の下で～昭和21年のジャズ」等を開催し、観客動員数も堅調に推移いたしました。

この結果、当期における舞台公演事業の業績は、連結売上高825百万円（前期比65.5%増）、連結営業利益165百万円（前期比43.5%増）となりました。

## ② 次期の見通し

音楽映像事業におきましては、今後も音楽ソフト市場・映像ソフト市場の低迷が予測される中、良質な作品への絞込みを行いつつ積極的にマスターライツの拡充を図るとともに、音楽配信・映像配信市場への作品供給やBlu-Ray Discの発売など、変化するメディアへの確実な対応を進め、新たな収益源の確保に努めてまいります。

デジタルコンテンツ事業におきましては、世界市場を視野に入れたマーケティング・プラットフォーム戦略の展開により、オリジナルタイトルの開発を強化しつつ、国内及び子会社を通じた欧州・北米への作品投入を行ってまいります。また、保有するデジタルコンテンツ資産を積極活用し、モバイルゲーム市場・オンラインゲーム市場における事業展開の基礎作りを進めてまいります。

舞台公演事業におきましては、主力作品の公演規模の拡大ならびに海外への進出などにより更なる伸長を図るとともに、引き続き新たな作品の創出に向け取り組んでまいります。

次期の業績については、これらの取り組みのもと、連結売上高12,500百万円、連結営業利益260百万円、連結経常利益200百万円、連結当期純利益60百万円を見込んでおります。

## (2) 財務状態に関する分析

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.4%増加し、7,222百万円となりました。これは主として、ゲームソフトの開発費を発売時までコンテンツとしてたな卸資産に計上しており、そのタイトル数が増えたため、たな卸資産が1,075百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて78.5%減少し、590百万円となりました。これは主として有形固定資産ではアミューズメント事業の譲渡等により1,396百万円、無形固定資産では連結子会社(株)ランタイムの未償却のれんの減損損失処理分115百万円、投資その他の資産ではアミューズメント事業の譲渡等に係る建設協力金として長期貸付金316百万円及び敷金保証金190百万円が減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17.5%減少し、7,813百万円となりました。

#### (ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて35.5%減少し、4,594百万円となりました。これは主として短期借入金が1,935百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末の433百万円に対し406百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて33.8%減少し、5,001百万円となりました。

#### (ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて46.8%増加し、2,812百万円となりました。これは主として791百万円の当期純利益を計上したためであります。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて、8,922円57銭増加し、30,897円96銭となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の19.6%から33.4%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の状況は、前連結会計年度末に比べ352百万円（35.9%）増加し、当連結会計年度末には1,334百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、210百万円（前連結会計年度は使用した資金657百万円）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,137百万円、映像コンテンツ償却833百万円及び売上債権の減少375百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額1,937百万円、未払金の減少566百万円及び関係会社株式売却益857百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は2,580百万円（前連結会計年度は使用した資金1,886百万円）となりました。  
これは主にアミューズメント事業撤退に係る連結子会社の売却による収入1,693百万円及び事業譲渡による収入1,020百万円によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、1,954百万円（前連結会計年度は得られた資金2,739百万円）となりました。  
これは、1,954百万円の短期及び長期借入金（純額）の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
自己資本比率 (%)	46.5	50.3	19.6	33.4
時価ベースでの株主資本比率 (%)	167.6	105.1	40.2	35.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	269.4	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースでの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 平成17年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率につきましては、有利子負債残高が無いため記載しておりません。また、平成18年3月期から平成20年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率とインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

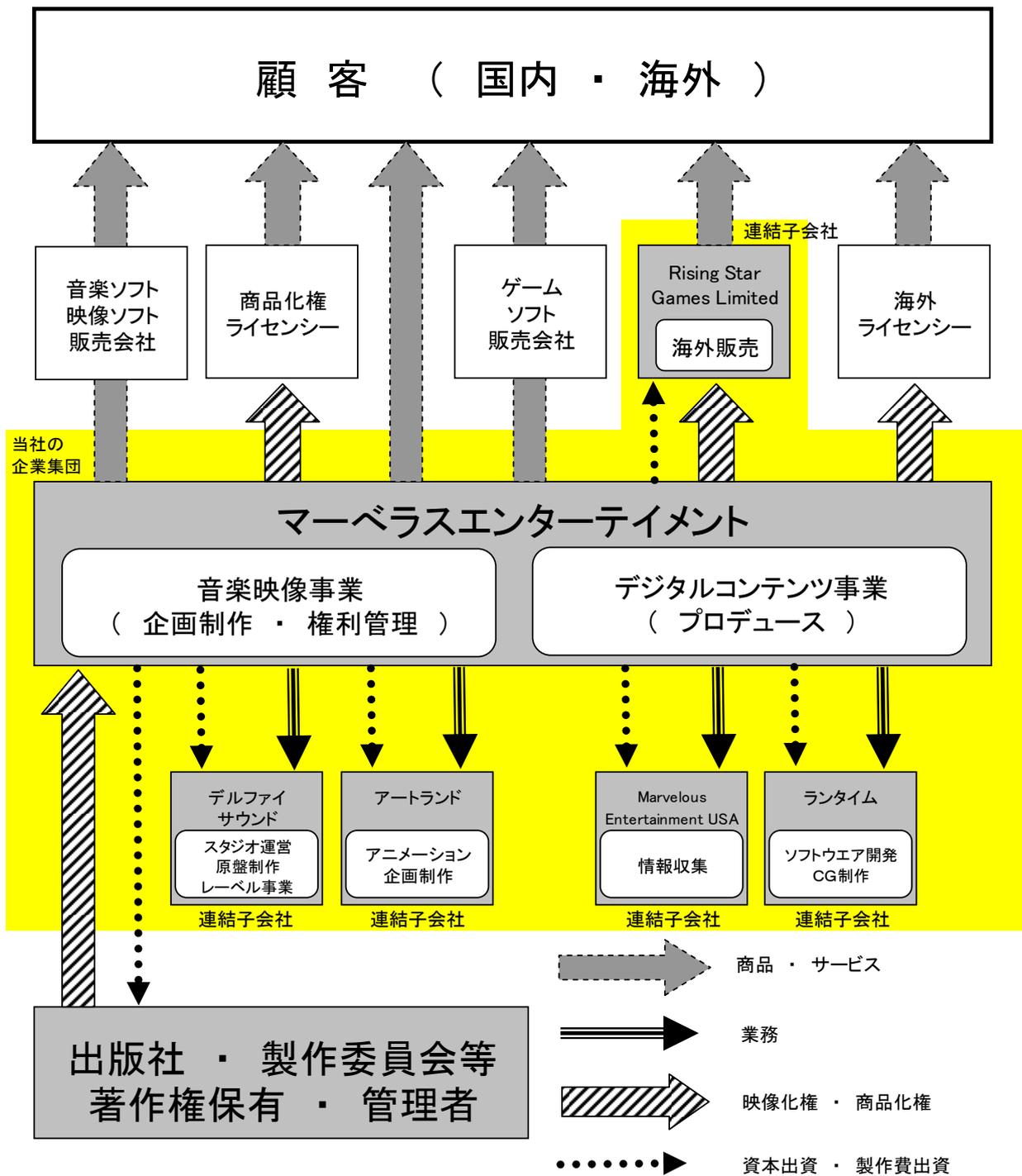
(3) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つと認識しており、将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。この基本方針のもと、当期の配当金は、平成20年5月9日付の修正予想で発表したとおり、期初予想を上回る業績を上げることができたため、株主の皆様のご負託にお応えすべく、期末普通配当625円に特別配当125円を加えた年間750円といたしました。

また、次期の配当につきましては、今後の業績見通しを基本に1株当たり年間配当625円の年間配当を予定しております。

なお、内部留保資金の使途につきましては、今後の事業展開に向けた戦略財源として有効投資してまいりたいと考えております。

2. 企業集団の状況



### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「音とゲームと映像を融合させた新しいエンターテイメントの創造」により、全世界の人々に「楽しみ」を提供することを経営理念に掲げております。このビジョンのもと、当社グループが継続的に成長、発展することで企業価値を向上させ、株主の皆様、顧客、従業員を始めとした全てのステークホルダーの満足度を高めるよう努めて参ります。

#### (2) 目標とする経営指標

当社グループは、「収益性」と「安定性」の高い効率的な経営の実現を達成することを目標としており、「売上高経常利益率8%以上」、「有利子負債月商倍率1.2以下」を経営指標として掲げております。また、デジタルコンテンツ事業における海外売上高比率を更に高め、各地域の市場規模と比例する「日本：2、北米：4、欧州：4」の売上構成比を目指します。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略及び会社の対処すべき課題

音楽映像事業におきましては、販売チャネルの多様化が進む中で、良質な映像コンテンツのマスターライツの拡充を進め、音楽及び映像配信市場への作品供給などを積極的に行い、原版（盤）収益の確立に取り組んでまいります。また、子会社の株式会社デルファイサウンド、株式会社アートランドと連携することによって、制作機能を強化し、品質と収益両面の向上を図ります。

デジタルコンテンツ事業におきましては、当社のキラーコンテンツ「牧場物語」に次ぐ、ワールドワイドで通用する新たなオリジナルシリーズの企画・開発を進めてまいります。また、モバイルコンテンツの拡充やオンラインゲームを運営することにより、新たなビジネスチャンスを創出するとともに、幅広いユーザー向けの商品を数多く企画し、リスクを分散しながら安定的な収益を目指します。海外市場におきましては、欧州市場で順調な成長を続ける英国子会社Rising Star Games Limitedに続き、北米市場における米国子会社Marvelous Entertainment USA, Inc.の本格稼働により、世界三極における自社発売体制を実現し、「マーベラスブランド」の確立に努めてまいります。

舞台公演事業におきましては、ヒットシリーズ「ミュージカル『テニスの王子様』」の大規模なパブリシティ展開による新たな顧客層の獲得や海外公演への進出により、事業の裾野の拡大を目指してまいります。一方で、観客動員数が飛躍的に増大する中、公演の円滑で安全な運営が課題となりつつあります。更に、このシリーズの発展を活用し、かつこの分野での先駆者利得を活かしながら、新たなヒットシリーズの創出を図り、舞台公演を当社事業の中核の一つと成すべく拡大展開してまいります。

#### (4) 内部管理体制の整備・運用

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制につきましては、次のとおり実施しております。

- ① 取締役・従業員の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するために、「MMVバイブル」により経営理念及び行動指針の徹底を図るとともに、毎月、社長以下幹部社員が出席するコンプライアンス委員会を開催して、その実効を検証しております。
- ② 取締役会の職務の執行に係る情報の保存及び管理については、文書管理規程に基づき、株主総会、取締役会その他重要会議の議事録、稟議書等を一定期間保存し、その管理を確実にしております。
- ③ 損失の危険の管理については、毎月、社長以下幹部社員が出席するリスク管理委員会を開催して、当社及びグループ各社の多様なリスクに対する管理体制並びに管理手法を包括的に検討しております。
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するために、十分かつ適切な情報を各取締役に提供し、会社経営に係る重要事項の決定に誤りなきを期するとともに、取締役会、グループ経営会議その他の会議を定期、臨時に開催し、機動的、効率的な職務執行を図っております。
- ⑤ 企業集団における業務の適正を確保するために、グループ経営会議を定期的で開催し、グループ経営方針の徹底、事業の連絡調整を密にするとともに、事業年度初頭に当社及びグループ各社の全役職員の会合を開催し、実務方針の周知徹底を図っております。
- ⑥ 取締役及び使用人は、各監査役の要請に応じて必要な報告及び情報提供を行っております。
- ⑦ 監査役の監査が実効的に行われることを確保するために、代表取締役との定期会合は定着化しており、会社が対処すべき課題、会社を取り巻くリスク、監査上の重要課題等について意見を交換しております。

なお、この体制につきましては、基本方針の補強を含め、更なる整備を進めてまいり所存であります。

## 4. 連結財務諸表

## (1) 連結貸借対照表

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)			
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)		
(資産の部)							
I 流動資産							
1		現金及び預金	981,735		1,334,636		
2		売掛金	2,555,511		2,179,709		
3		たな卸資産	2,059,323		3,134,703		
4		前渡金	678,128		247,308		
5		未収入金	350,167		310,823		
6		その他	114,424		90,170		
		貸倒引当金	△16,820		△74,742		
		流動資産合計	6,722,471	71.0	7,222,609	92.4	
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1)		建物	639,686		129,811		
		減価償却累計額	195,359	444,326	60,118	69,692	
(2)		アミューズメント 施設機器	2,392,026		—		
		減価償却累計額	1,370,710	1,021,315	—	—	
(3)		車両運搬具	22,781		7,306		
		減価償却累計額	7,145	15,636	5,283	2,023	
(4)		工具器具備品	264,234		302,733		
		減価償却累計額	149,957	114,276	175,762	126,970	
		有形固定資産合計	1,595,555	16.9	198,687	2.6	
2 無形固定資産							
(1)		のれん	282,601		96,419		
(2)		商標権	175		145		
(3)		ソフトウェア	109,023		94,284		
(4)		電話加入権	3,053		2,679		
		無形固定資産合計	394,852	4.2	193,528	2.5	
3 投資その他の資産							
(1)		投資有価証券	3,370		10,298		
(2)		出資金	54,225		—		
(3)		長期貸付金	316,451		—		
(4)		破産更生債権等	250		—		
(5)		敷金保証金	374,446		183,529		
(6)		会員権	4,700		4,700		
(7)		その他	524		—		
		貸倒引当金	△250		—		
		投資その他の資産合計	753,717	8.0	198,528	2.5	
		固定資産合計	2,744,125	29.0	590,744	7.6	
		資産合計	9,466,596	100.0	7,813,353	100.0	

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金		1,025,006		1,198,394	
2 短期借入金		3,200,408		1,264,842	
3 一年以内返済予定の 長期借入金		18,700		17,312	
4 未払金		1,448,827		781,676	
5 未払費用		27,109		7,767	
6 未払印税		850,001		820,418	
7 未払法人税等		81,702		182,450	
8 未払消費税等		6,039		21,029	
9 前受金		302,365		165,046	
10 預り金		101,863		19,408	
11 賞与引当金		48,391		90,276	
12 返品調整引当金		—		22,914	
13 その他		7,141		2,542	
流動負債合計		7,117,558	75.2	4,594,079	58.8
II 固定負債					
1 長期借入金		424,265		406,953	
2 預り保証金		8,842		—	
固定負債合計		433,107	4.6	406,953	5.2
負債合計		7,550,665	79.8	5,001,032	64.0
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金		878,539		878,539	
2 資本剰余金		880,059		880,059	
3 利益剰余金		83,667		875,129	
株主資本合計		1,842,266	19.5	2,633,728	33.7
II 評価・換算差額等					
1 為替換算調整勘定		14,214		△23,468	
評価・為替換算差額等合計		14,214	0.1	△23,468	△0.3
III 少数株主持分		59,449	0.6	202,060	2.6
純資産合計		1,915,930	20.2	2,812,320	36.0
負債純資産合計		9,466,596	100.0	7,813,353	100.0

(2) 連結損益計算書

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)			当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
I 売上高			12,487,743	100.0		12,387,904	100.0
II 売上原価			10,506,890	84.1		8,965,667	72.4
売上総利益			1,980,852	15.9		3,422,236	27.6
III 販売費及び一般管理費							
1 広告宣伝費		1,451,679			1,340,521		
2 貸倒引当金繰入額		12,751			62,857		
3 従業員給与・賞与		438,682			484,617		
4 賞与引当金繰入額		35,699			65,341		
5 研究開発費		6,392			—		
6 その他		1,088,050	3,033,255	24.3	1,116,257	3,069,596	24.8
営業利益又は 営業損失(△)			△1,052,402	△8.4		352,640	2.8
IV 営業外収益							
1 受取利息		529			705		
2 受取配当金		222			402		
3 負ののれん償却額		20,059			—		
4 為替差益		13,332			—		
5 消耗品売却額		—			6,259		
6 還付加算金		—			3,985		
7 その他		11,188	45,331	0.4	7,205	18,558	0.1
V 営業外費用							
1 支払利息		39,838			42,940		
2 為替差損		—			499		
3 その他		7,080	46,918	0.4	806	44,246	0.3
経常利益又は 経常損失(△)			△1,053,989	△8.4		326,952	2.6
VI 特別利益							
1 貸倒引当金戻入額		14,202			4,376		
2 固定資産売却益		84,747			3,838		
3 事業譲渡益		—			112,382		
4 関係会社株式売却益		—	98,950	0.8	857,481	978,080	7.9

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		百分比 (%)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		百分比 (%)
		金額(千円)			金額(千円)		
<b>VII 特別損失</b>							
1 固定資産売却損		23,060			16,517		
2 固定資産除却損		23,250			21,320		
3 減損損失		102,633			115,531		
4 契約解約違約金		—			14,400		
5 フランチャイズ契約解約 違約金		153,743			—		
6 契約金、保証金解約損		66,858	369,547	3.0	—	167,769	1.3
税金等調整前当期純利益 または税金等調整前当期 純損失(△)			△1,324,586	△10.6		1,137,262	9.2
法人税、住民税 及び事業税		111,871			178,758		
法人税等調整額		61,903	173,774	1.4	—	178,758	1.4
少数株主利益			27,577	0.2		167,042	1.4
当期純利益又は 当期純損失(△)			△1,525,938	△12.2		791,462	6.4

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年3月31日残高 (千円)	872,442	873,961	1,662,305	3,408,708
連結会計年度中の変動額				
新株の発行	6,097	6,097		12,195
剰余金の配当			△52,700	△52,700
当期純損失			△1,525,938	△1,525,938
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)				
連結会計年度中の変動額 合計(千円)	6,097	6,097	△1,578,638	△1,566,442
平成19年3月31日残高 (千円)	878,539	880,059	83,667	1,842,266

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高 (千円)	2,282	2,282	31,872	3,442,864
連結会計年度中の変動額				
新株の発行				12,195
剰余金の配当				△52,700
当期純損失				△1,525,938
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)	11,931	11,931	27,577	39,508
連結会計年度中の変動額 合計(千円)	11,931	11,931	27,577	△1,526,933
平成19年3月31日残高 (千円)	14,214	14,214	59,449	1,915,930

当連結会計年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成19年3月31日残高 (千円)	878,539	880,059	83,667	1,842,266
連結会計年度中の変動額				
当期純利益			791,462	791,462
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)				
連結会計年度中の変動額 合計(千円)			791,462	791,462
平成20年3月31日残高 (千円)	878,539	880,059	875,129	2,633,728

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高 (千円)	14,214	14,214	59,449	1,915,930
連結会計年度中の変動額				
当期純利益				791,462
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)	△37,682	△37,682	142,610	104,928
連結会計年度中の変動額 合計(千円)	△37,682	△37,682	142,610	896,390
平成20年3月31日残高 (千円)	△23,468	△23,468	202,060	2,812,320

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1		税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失 (△)	△1,324,586	1,137,262
2		減価償却費	908,549	244,093
3		減損損失	102,633	115,531
4		映像コンテンツ償却	1,285,016	833,308
5		のれん償却額	42,638	70,650
6		長期前払費用償却額	9,283	—
7		賞与引当金の増加(減少△)額	△198	41,884
8		貸倒引当金の増加(減少△)額	△1,451	57,670
9		返品調整引当金の増加	—	22,914
10		受取利息	△529	△705
11		支払利息	39,838	42,940
12		為替差損	504	—
13		映像コンテンツの評価損	1,057,171	20,838
14		デジタルコンテンツの評価損	53,308	—
15		固定資産売却益	△84,747	△3,838
16		固定資産売却損	23,060	16,517
17		固定資産除却損	23,250	21,320
18		事業譲渡益	—	△112,382
19		関係会社株式売却益	—	△857,481
20		売上債権の減少(増加△)額	△681,792	375,802
21		たな卸資産の増加額	△3,679,899	△1,937,755
22		仕入債務の増加額	338,734	173,387
23		未払金の増加(減少△)額	693,900	△566,044
24		未払印税の増加(減少△)額	255,216	△29,582
25		未払消費税等の増加(減少△)額	△4,544	14,989
26		その他流動資産の減少額	595,074	443,507
27		その他流動負債の減少額	△196,751	△233,461
28		その他	53,595	—
		小計	△492,723	△108,630
29		利息の受取額	529	705
30		利息の支払額	△44,127	△41,311
31		法人税等の支払額	△121,303	△61,222
		営業活動によるキャッシュ・フロー	△657,625	△210,459
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1		連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出	△146,042	—
2		連結子会社の売却による収入	—	1,693,599
3		事業譲渡による収入	—	1,020,438
4		有形固定資産の取得による支出	△1,508,004	△239,119
5		有形固定資産の売却による収入	130,803	90,089
6		投資有価証券の売却による収入	—	1,300
7		無形固定資産の取得による支出	△15,909	△30,893
8		長期前払費用の増加による支出	△22,000	—

		前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)
9		11,907	10,000
10		△70,648	△24,648
11		53,326	51,842
12		△352,227	△2,498
13		24,930	12,539
14		△4,603	△4,310
15		9,500	1,200
16		2,952	524
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,886,014	2,580,065
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1		5,900,845	2,542,927
2		△3,500,436	△4,478,493
3		400,000	—
4		△20,769	△18,700
5		12,082	—
6		△52,258	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,739,462	△1,954,591
IV		11,426	△62,114
V		207,249	352,900
VI		774,486	981,735
VII		981,735	1,334,636

## (5) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書(平成19年6月25日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

## (6) 連結財務諸表に関する注記事項

(連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記事項)  
決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高 及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,591,314	5,081,967	2,315,800	498,661	12,487,743	—	12,487,743
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	32,156	—	—	—	32,156	(32,156)	—
計	4,623,471	5,081,967	2,315,800	498,661	12,519,900	(32,156)	12,487,743
営業費用	5,517,092	4,842,900	2,396,662	383,656	13,140,312	399,833	13,540,146
営業利益又は 営業損失(△)	△893,621	239,067	△80,862	115,004	△620,412	(431,990)	△1,052,402
II 資産、減価償却費、 減損損失及び 資本的支出							
資産	2,320,713	4,023,032	2,045,585	201,112	8,590,444	876,152	9,466,596
減価償却費	24,900	60,038	791,934	—	876,873	31,674	908,549
減損損失	—	—	102,633	—	102,633	—	102,633
資本的支出	2,880	76,682	1,498,618	—	1,578,181	31,320	1,609,501

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

- (1) 音楽映像事業……………VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
- (2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト、PCソフト
- (3) アミューズメント事業…………アミューズメント施設運営
- (4) その他の事業……………舞台公演

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(399,833千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産(876,152千円)の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、本社の敷金及び管理部門に係る資産等であります。

当連結会計年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高 及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,190,180	6,903,629	468,974	825,120	12,387,904	—	12,387,904
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	12,967	—	—	—	12,967	(12,967)	—
計	4,203,148	6,903,629	468,974	825,120	12,400,871	(12,967)	12,387,904
営業費用	3,849,086	6,446,516	463,850	660,048	11,419,501	615,762	12,035,263
営業利益	354,061	457,112	5,124	165,071	981,370	(628,729)	352,640
II 資産、減価償却費、 減損損失及び 資本的支出							
資産	1,493,816	4,823,075	—	205,489	6,522,381	1,290,971	7,813,353
減価償却費	20,397	68,435	122,019	—	210,852	33,289	244,142
減損損失	—	115,531	—	—	115,531	—	115,531
資本的支出	3,466	97,490	54,225	—	155,181	14,049	169,231

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

- (1) 音楽映像事業……VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
- (2) デジタルコンテンツ事業……ゲームソフト、PCソフト
- (3) アミューズメント事業……アミューズメント施設運営
- (4) 舞台公演事業……舞台公演

なお、「舞台公演事業」は前連結会計年度まで、「その他の事業」としておりましたが、重要性が増したため当連結会計年度より区分表示しております。

- 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(615,762千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。
- 4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産(1,290,971千円)の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、本社の敷金及び管理部門に係る資産等であります。

## 2. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高 及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,146,283	1,341,460	—	12,487,743	—	12,487,743
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	321,134	—	—	321,134	(321,134)	—
計	11,467,418	1,341,460	—	12,808,878	(321,134)	12,487,743
営業費用	12,148,578	1,250,921	5,274	13,404,774	135,371	13,540,146
営業利益又は 営業損失(△)	△681,159	90,538	△5,274	△595,896	(456,506)	△1,052,402
II 資産	7,707,314	1,100,086	3,077	8,810,479	656,117	9,466,596

(注) 1 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(135,371千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

2 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産(656,117千円)の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、本社の敷金及び管理部門に係る資産等であります。

当連結会計年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高 及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,827,955	2,559,948	—	12,387,904	—	12,387,904
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	360,070	—	—	360,070	(360,070)	—
計	10,188,025	2,559,948	—	12,747,974	(360,070)	12,387,904
営業費用	9,552,820	2,180,127	3,742	11,736,691	298,572	12,035,263
営業利益又は 営業損失(△)	635,205	379,821	△3,742	1,011,283	(658,642)	352,640
II 資産	4,981,905	1,539,138	1,337	6,522,381	1,290,971	7,813,353

(注) 1 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(298,572千円)の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

2 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産(1,290,971千円)の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、本社の敷金及び管理部門に係る資産等であります。

## 3. 海外売上高

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	欧州	アジア	北米	計
I 海外売上高 (千円)	1,341,460	301,174	241,712	1,884,347
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	12,487,743
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	10.7	2.4	1.9	15.1

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2 本国以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) 欧州……………イギリス、ドイツ  
 (2) アジア……………韓国、台湾  
 (3) 北米……………アメリカ  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当連結会計年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	2,602,074	429,537	68,131	89,879	3,189,622
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	—	12,387,904
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	21.0	3.5	0.5	0.7	25.7

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2 本国以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) 欧州……………イギリス、フランス、ドイツ  
 (2) 北米……………アメリカ  
 (3) アジア……………韓国、台湾  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(リース取引関係)

決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(関連当事者との取引)

決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(税効果会計関係)

決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(有価証券関係)

決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(デリバティブ取引関係)

決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(ストック・オプション等関係)

決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

(企業結合等関係)

決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
1株当たり純資産額	21,975円39銭	30,897円96銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)	△18,072円13銭	9,368円63銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。</p> <p>当社は平成18年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前連結会計年度の1株当たり情報については、それぞれ以下のとおりであります。</p> <p>1株当たり純資産額 40,452円94銭 1株当たり当期純利益 6,588円15銭 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 6,303円14銭</p>	<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p>

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
連結損益計算書上の当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△1,525,938	791,462
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△1,525,938	791,462
普通株主に帰属しない金額(千円) 利益処分による役員賞与金	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	84,436	84,480
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いら れた普通株式増加数の主要な内訳(株) 新株予約権	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第2回～第4回新株予約権 (新株予約権の数 5,260株)	第2回～第4回新株予約権 (新株予約権の数 5,028株)

(重要な後発事象)

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>(連結子会社との合併) 平成19年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社マーベラス音楽出版を吸収合併いたしました。</p> <p>1 当該吸収合併の目的 当社と連結子会社である株式会社マーベラス音楽出版が経営統合することで、スピーディーな顧客サービスの実現及び業務の効率的な運用を図るため、合併するものであります。</p> <p>2 当該吸収合併の相手会社の概要 商号 株式会社マーベラス音楽出版 本店の所在地 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 代表者の氏名 代表取締役社長 牧野 幸文 資本金 10百万円 純資産の額 98百万円 総資産の額 129百万円 売上高 157百万円 当期純利益 42百万円 事業の内容 音楽著作権管理</p> <p>3 当該吸収合併の方法 当社を存続会社とする吸収合併方式（会社法第796条第3項に定める簡易合併ならびに会社法第784条第1項に定める略式合併）とし、株式会社マーベラス音楽出版は解散いたします。 また、当社は株式会社マーベラス音楽出版の全株式を所有しており、合併による新株式の発行及び合併交付金の支払は行いません。</p> <p>(事業の一部分社化並びに新設会社の株式譲渡) 当社は、平成19年6月1日付でアミューズメント部門の一部を会社分割（新設分割）により新設会社に継承し、同日、当該新設会社の発行済株式のすべてを譲渡いたしました。</p> <p>1 当該新設分割の目的 当社は総合エンターテイメント企業を目指して、音楽映像事業、デジタルコンテンツ事業、アミューズメント事業を3本柱として事業展開して参りましたが、当社グループとして今後の更なる成長を実現するために、音楽映像事業並びにデジタルコンテンツ事業へ経営資源を集中させる必要があると判断し、アミューズメント事業部門の5店舗を会社分割し、同新設立会社の全株式を株式会社アトラスへ譲渡することに致しました。これにより、財務体質を強化するとともに、市場における優位性の確保を図り、企業価値の向上を目的としております。</p> <p>2 当該新設分割の方法、割当ての内容及び計画 (1) 分割の日程 当社取締役会（新設分割承認決議） 平成19年3月20日 株式譲渡契約締結 平成19年3月20日 分割期日（効力発生日） 平成19年6月1日 分割登記 平成19年6月1日 なお、本件会社分割は会社法第805条の規定に基づき株主総会の承認を得ないで分割を行う簡易分割であります。</p>	<p>(連結子会社との合併) 平成20年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社ランタイムを吸収合併いたしました。</p> <p>1 当該吸収合併の目的 当社と連結子会社である株式会社ランタイムが経営統合することにより、業務の効率的な運営を図るため、合併するものであります。</p> <p>2 当該吸収合併の相手会社の概要 商号 株式会社ランタイム 本店の所在地 東京都新宿区西新宿7-7-6 代表者の氏名 代表取締役社長 和田 康宏 資本金 30百万円 純資産の額 57百万円 総資産の額 193百万円 売上高 265百万円 当期純損失 16百万円 事業の内容 ソフトウェア開発、ゲームの企画・制作、CG制作</p> <p>3 当該吸収合併の方法 当社を存続会社とする吸収合併方式（会社法第796条第3項に定める簡易合併ならびに会社法第784条第1項に定める略式合併）とし、株式会社ランタイムは解散いたします。 また、当社は株式会社ランタイムの全株式を所有しており、合併による新株式の発行及び合併交付金の支払は行いません。</p>

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
<p>(2) 分割方式                      当社を分割会社とし、新設の株式会社マッドを承継会社とする新設分割であります。</p> <p>(3) 株式の割当                      新設分割に際し、新設会社株式会社マッドは普通株式200株を発行し、当社に200株(100%)を割当てます。</p> <p>(4) 分割交付金                      分割交付金の支払いはありません。</p> <p>(5) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い                      該当事項はありません。</p> <p>(6) 新設会社が継承する権利義務                      新設会社は、分割期日において当社アミューズメント部門の5店舗に係わる資産、負債、契約関係及びこれらに付随する権利義務を継承いたします。</p> <p>(7) 債務履行の見込み                      本分割後の事業活動において、債務の履行に影響を及ぼす事象の発生は、現在のところ予想されていないことから、分割会社ならびに新設会社が負担すべき債務の履行の確実性に問題はないものと判断しております。</p> <p>3 新設分割に係る割当ての内容の算定根拠                      単独での分社型新設分割であるため、第三者機関による算定は実施しておりません。また、新設分割設立会社は当社の100%子会社であることから、新設分割設立会社の資本金等の額を考慮して、割当株式数を決定いたしました。</p> <p>4 新設分割する事業の規模                      売上高 1,135百万円(平成18年3月期)</p> <p>5 当該新設分割の後の新設会社                      商号 株式会社マッド                      本店の所在地 東京都渋谷区恵比寿4-20-3                      代表者の氏名 代表取締役社長 猪狩 茂                      資本金 10百万円                      純資産の額 872百万円                      総資産の額 876百万円                      事業の内容 アミューズメント事業</p> <p>6 株式譲渡先                      商号 株式会社アトラス                      本店の所在地 東京都新宿区神楽坂4-8                      代表者の氏名 代表取締役社長 猪狩 茂                      資本金 8,450百万円                      事業の内容 アミューズメント事業</p> <p>7 株式譲渡価額                      1,730百万円(調整あり)</p> <p>8 株式譲渡の日程                      平成19年3月20日 当社取締役会(株式譲渡承認決議)                      平成19年3月20日 株式譲渡契約締結                      平成19年6月1日 株式譲渡日</p>	

## 5. 財務諸表

## (1) 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (平成19年3月31日)		当事業年度 (平成20年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1	現金及び預金	494,488		992,684	
2	売掛金	1,001,468		1,351,971	
3	製品	—		15,881	
4	映像コンテンツ	189,533		212,041	
5	デジタルコンテンツ	—		2,623,549	
6	原材料	19,869		27,567	
7	仕掛品	17,125		35,524	
8	貯蔵品	8,415		133	
9	前渡金	405,742		90,543	
10	前払費用	55,493		33,121	
11	短期貸付金	1,527,311		300	
12	未収入金	223,531		281,156	
13	その他	11,546		33,417	
	貸倒引当金	△12,841		△68,669	
	流動資産合計	3,941,684	58.6	5,629,224	87.7
II 固定資産					
1 有形固定資産					
	(1) 建物	552,989		46,457	
	減価償却累計額	169,194	383,795	24,941	21,516
	(2) アミューズメント 施設機器	2,392,026		—	
	減価償却累計額	1,370,710	1,021,315	—	—
	(3) 車両運搬具	20,196		4,345	
	減価償却累計額	6,007	14,188	2,919	1,425
	(4) 工具器具備品	44,642		244,558	
	減価償却累計額	34,269	10,372	146,534	98,024
	有形固定資産合計		1,429,672		120,966
	2 無形固定資産				
	(1) 商標権		175		145
	(2) ソフトウェア		81,326		92,396
	(3) 電話加入権		1,110		1,581
	無形固定資産合計		82,611		94,123
			21.3		1.5

区分	注記 番号	前事業年度 (平成19年3月31日)		当事業年度 (平成20年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券		2,000		10,228	
(2) 関係会社株式		491,645		188,781	
(3) 長期貸付金		526,301		310,000	
(4) 敷金保証金		330,940		138,604	
(5) 会員権		4,700		4,700	
貸倒引当金		△85,000		△78,600	
投資その他の資産合計		1,270,587	18.9	573,714	8.9
固定資産合計		2,782,871	41.4	788,804	12.3
資産合計		6,724,555	100.0	6,418,029	100.0

区分	注記 番号	前事業年度 (平成19年3月31日)		当事業年度 (平成20年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金		330,243		685,569	
2 短期借入金		3,200,000		1,000,000	
3 未払金		949,312		724,146	
4 未払費用		24,808		4,849	
5 未払印税		816,436		818,685	
6 未払法人税等		3,035		16,171	
7 前受金		137,103		86,155	
8 預り金		14,774		6,579	
9 賞与引当金		28,724		67,764	
10 返品調整引当金		—		1,041	
11 その他		2,287		8,791	
流動負債合計		5,506,726	81.9	3,419,755	53.3
II 固定負債					
1 長期借入金		400,000		400,000	
2 預り保証金		8,842		—	
固定負債合計		408,842	6.1	400,000	6.2
負債合計		5,915,569	88.0	3,819,755	59.5
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金		878,539	13.0	878,539	13.7
2 資本剰余金					
(1) 資本準備金		880,059		880,059	
資本剰余金合計		880,059	13.1	880,059	13.7
3 利益剰余金					
(1) その他利益剰余金					
繰越利益剰余金		△949,612		839,675	
利益剰余金合計		△949,612	△14.1	839,675	13.1
株主資本合計		808,986	12.0	2,598,273	40.5
純資産合計		808,986	12.0	2,598,273	40.5
負債純資産合計		6,724,555	100.0	6,418,029	100.0

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)			当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)		
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
I 売上高							
1 製品売上高		3,179,022			5,619,671		
2 アミューズメント 施設収入		2,312,130			468,298		
3 その他収入		1,272,803	6,763,956	100.0	2,215,496	8,303,466	100.0
II 売上原価							
1 製品売上原価							
(1) 製品期首たな卸高		—			—		
(2) 当期製品製造原価		893,474			3,050,810		
合計		893,474			3,050,810		
(3) 製品期末たな卸高		—	893,474		15,881	3,034,929	
2 印税			683,859			1,028,475	
3 アミューズメント 施設収入原価			2,396,662			463,850	
4 映像コンテンツ償却			1,270,526			700,017	
5 映像コンテンツ評価損			1,064,835			21,000	
6 その他売上原価			414,035			673,239	
売上原価合計			6,723,394	99.4		5,921,512	71.3
売上総利益			40,561	0.6		2,381,954	28.7
III 販売費及び一般管理費							
1 広告宣伝費		683,436			943,631		
2 荷造発送費		2,594			8,783		
3 貸倒引当金繰入額		12,421			56,247		
4 役員報酬		108,261			107,523		
5 従業員給与・賞与		178,394			387,547		
6 賞与引当金繰入額		19,003			57,386		
7 その他人件費		33,017			64,157		
8 賃借料		47,979			130,480		
9 減価償却費		31,674			87,464		
10 その他		163,380	1,280,164	18.9	285,223	2,128,446	25.6
営業利益又は 営業損失 (△)			△1,239,602	△18.3		253,507	3.1

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
IV 営業外収益					
1 受取利息		21,608		12,542	
2 受取配当金		60,220		400	
3 賃貸料収入		13,977		—	
4 受取手数料		20,549		32,676	
5 消耗品売却額		—		6,259	
6 その他		14,097	130,453	7,968	59,847
			1.9		0.7
V 営業外費用					
1 支払利息		29,533		33,763	
2 貸倒引当金繰入額		85,000		—	
3 為替差損		—		39,312	
4 その他		4,394	118,928	430	73,506
			1.8		0.9
経常利益又は 経常損失 (△)			△1,228,077		239,848
			△18.2		2.9
VI 特別利益					
1 貸倒引当金戻入額		11,748		11,727	
2 固定資産売却益		84,747		3,838	
3 事業譲渡益		—		112,382	
4 関係会社株式売却益		—		857,481	
5 抱合せ株式消滅差益		—	96,495	815,979	1,801,411
			1.4		21.7
VII 特別損失					
1 固定資産売却損		23,060		16,517	
2 固定資産除却損		23,250		21,320	
3 関係会社株式評価損		44,999		192,863	
4 減損損失		102,633		—	
5 フランチャイズ契約 解約違約金		153,743		—	
6 契約金、保証金解約損		66,858	414,547	—	230,701
			6.1		2.8
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失 (△)			△1,546,129		1,810,558
			△22.9		21.8
法人税、住民税 及び事業税		37,531		21,271	
法人税等調整額		60,244	97,775	—	21,271
			1.4		0.3
当期純利益又は 当期純損失 (△)			△1,643,905		1,789,287
			△24.3		21.5

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金	株主資本合計	
平成18年3月31日残高(千円)	872,442	873,961	746,993	2,493,396	2,493,396
事業年度中の変動額					
新株の発行	6,097	6,097		12,195	12,195
剰余金の配当			△52,700	△52,700	△52,700
当期純損失			△1,643,905	△1,643,905	△1,643,905
事業年度中の変動額合計(千円)	6,097	6,097	△1,696,605	△1,684,410	△1,684,410
平成19年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	△949,612	808,986	808,986

当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金	株主資本合計	
平成19年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	△949,612	808,986	808,986
事業年度中の変動額					
当期純利益			1,789,287	1,789,287	1,789,287
事業年度中の変動額合計(千円)			1,789,287	1,789,287	1,789,287
平成20年3月31日残高(千円)	878,539	880,059	839,675	2,598,273	2,598,273

(4) 重要な会計方針並びに個別財務諸表に関する注記事項

決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

6. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動 (平成20年6月20日付予定)

退任予定取締役

取締役 佐野 信行